

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日		～	2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育+毎行われる保護者様へのフィードバックにより、一人ひとりに合わせた支援プログラムの立案ができる。	・苦手な課題（ニーズ）をお伺いした際に、すぐに支援に取り入れられる。 ・お子様や保護者様との何気ない会話の中から、支援に生かせる情報を聞き取るようにしている。 ・関わりの中で、小さな変化を見落とさないように心がけている。	・適切な目標設定のために、専門知識や発達段階を踏まえた相談ができるように、法人内外の研修・交流会に能動的に参加する。
2	・学習支援に加えて、身辺自立や他者との関わり方などについての活動も提供できる。	・学習支援のご要望は多いが、必要に応じて、身の回りの整理整頓、学習などのスケジュール管理、他者とのコミュニケーション練習、手先の巧緻性向上の取り組みなどを提供している。	・さまざまなニーズに対応できるように教材研究を続ける。 ・他校舎との情報共有をしてお子様の活動の幅を広げられるようにする。
3	・お子さんと職員との関わり ・保護者の方との情報共有	・お子さんが、複数の指導員と関わる場が設定できている。 ・毎回の活動の後に保護者様と対話をする時間があるので、その際にお子様の成長や今後の目標などをこまめにすり合わせている。	・関係機関連携・事業所間連携などの実施をして、お子様の様子をアセスメントする。 ・教室で行っている取り組みが周知できるようにSNSなどの活用をしていく。 ・引き続き学校・家庭での様子をこまめに聞き取る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子様どうして関わる機会が少ない。	・個別での活動をご希望するご利用者が多いため、お子様どうして関わる機会が少ない。 ・指導員と一対一で集中して活動に取り組むことを目標にしているご利用者様が多い。	・放デイ向けイベントも検討し、集団行動・ルールマナーに触れる活動も展開していきたい。
2	・保護者間の交流の場が少ない。	・保護者の方に個別にお話しを伺うことを重視しているため、保護者会などの交流の場を設定する機会は少なくなっている。	・年度ごとに、アンケートを実施しニーズに調査を行っていき、必要に応じて開催の検討をする。
3	・教室で行っているイベントや防災訓練などの取り組みについて、教室内外への広報が十分でない。	・ご好評いただいている取り組みは多くあるが、ご利用者様や外部の方への広報が十分でない。	・SNS/教室内の壁面を積極的に活用していく。 ・教室の様子・雰囲気を知ってもらえるような掲示・投稿を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

42

回収数

39

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	1	0	0	・パーティションがあり、集中できているけど隣の声が気になるとおもう。	広いスペースをパーティションで区切って、個別の指導訓練室として必要に応じて離れた場所の個室として相談室を一時的に利用し距離を置けるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	9	0	2		法に定められた基準を満たした人員配置を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	8	1	1		賃貸物件の為、改修工事等が難しい状況。雨天の際は、踊り場が滑りやすいので、滑り止めマットを敷いている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	3	0	1		清潔な環境で教育を提供するために、日々清掃と消毒を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	0	0	3	・苦手の克服のため、たくさんの提案をしてくださる。	毎回の療育の中でお子様の成長や変化を共有していく。また、個別支援計画に基づき、提供する療育方針について丁寧に説明をしていきご理解頂けるようにしていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	2		新規プログラムなどを開催する際は、対象となるご利用者様には必ず周知をおこなってる。また、特別プログラムやイベントの様子は教室内に掲示をしている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	2	0	0		事業所で提供する療育方針については、ご本人、保護者様、事業所の三者合意の上、決定している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2	0	0		必要な時に適切な地域資源を活用しているように、日頃から地域連携を心掛けていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1	0	2		個別支援計画をもとに毎回の療育プログラムの決定をしている。中間評価では、お子様の成長について保護者様と共通認識を持てるように聞き取りを行っている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	6	0	0		事業所内だけでなくご利用者様の関係機関の情報も確認をし、総合的に現在必要な療育方針を決定している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	8	10	8		今後、ご利用者のニーズを踏まえて検討していく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	2	・書面などでも分かりやすく説明がある。	契約時に契約書・重要事項説明書の内容をもとに、保護者様の不明点などを確認しながら説明を進めている。また、書類等に変更があった場合は必ず再度説明をしてサインを頂いている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	0	0	0		中間評価の時期には、個別支援計画を提示しながら、お子様の成長と今後の課題を確認している。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	7	1	4		現在、プログラムとしての提供は行っていないが、定期的な面談は行っている。今後、ニーズの確認をしていく中で検討をしていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	37	2	0	0		毎回のフィードバックでお子様の成長と目標を共有している。課題については、すり合わせを行い、必要に応じて支援に取り入れている。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	3	1	0	毎月、事業所内相談の設定のご希望を伺っている。ご希望の際は日程を調整し、実施をしている。また、必要に応じて職員から提案して実施をしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	2	0	0	フィードバックや事業所内相談の際に、お話を伺いし、ご利用者様のニーズを第一に支援計画を作成している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	12	5	7	・もう中学生なので参加はむずかしい。 ご利用者様のニーズを聞き取り、必要に応じて開催を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	5	0	0	可能な限り、ご利用者様や保護者様が快適にご利用できるよう、ご相談やご意見については真摯に受け止め、適切な対応をとっていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	2	フィードバック時は、実際に使った教具などを用いてお子様の様子を報告している。また、支援内容については保護者様とすり合わせを行いながら作成している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	6	1	5	主に教室内の掲示やお便りによって、プログラムの周知や報告をおこなっている。今後、SNS等も活発に活用していきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	2	ご契約時に個人情報の取り扱いに関しての説明を行い、同意書にサインをいただいている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	4	0	0	各種マニュアルに関してはファイリングしていつでも確認ができるようにしている。また、避難訓練に関しては、事業所内に掲示している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2	0	5	・実施されている様子が分かる。 月に一度避難訓練は実施し、ご利用中のお子様に参加してもらうなどをしている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	0	4	保護者様からもご意見を聞いて教室環境の改善に努めている。危険箇所は日頃チェックをしており事故に繋がらない対策を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	2	0	4	支援中に起こった怪我については、かならず保護者様に報告をし、その後の様子も伺うようにしている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	2	0	0	お子様や保護者様に対してまずは話を聞く姿勢を大切にし、何に困っているのかを当事者視点で共感することを心がけている。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	2	0	0	・親しみやすいスタッフの方々が安心。 ・学校の後でも喜んで通所している。 楽しんで前向きに通所できることを一番に考え、その中で価値ある療育を提供できるように、今後も運営を行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	3	0	0	・お子様とのコミュニケーションを大切に にし、学習以外のご家庭や学校での出来事を聞き取ることで困り感の軽減に繋げている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		一時間ごとに受け入れているため、こどもが活動できる空間は十分に確保できている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		お子様一人に対し指導員一人がつく個別支援を行っている。法に定める人員配置を守って運営を行っている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室内段差はほぼ無い。利用者の特性に応じて配慮し、支援環境を調整している。	引き続き、事故に繋がりがやすいところの修繕・措置を続けていく。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		開所日は毎日、清掃と消毒を行っている。活動によって、広さを変えたり、片付けたりして行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、半個室の利用も検討し、お子様それぞれが活動しやすい環境設定を心がけている。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		個別支援計画は個人ファイルに添付し、確認できるようになっている。週 1 回のミーティングと日々の申し送りで、教室としての目標設定の調整と振り返りを行っている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたご意見をもとに、改善に向けて取り組めている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1 on 1 面談の実施、話しやすい雰囲気作り、日々の情報共有に努めている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		評価を受け、その結果をもとに職員全体で見直し、改善に取り組んでいる。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修、外部研修ともに積極的に参加をしている。また、その中で知り得た情報は教室への落とし込みも行っている。					
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成時は、保護者様と面談を行い成長の確認や目標のすり合わせを行っている。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントの際に、ていねいに聞き取りを行った上で個別支援計画を作成している。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員からも話を聞き取り、こどもの現状や発達段階を考慮した上で作成している。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は個人ファイルに添付し、いつでも確認できるようになっている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		数値で示す質問と自由に記述する質問の両方を有するアセスメントシートを、モニタリングの時期に保護者に記入してもらい、確認している。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの支援を勘案しながら、具体的な支援内容を設定するように心掛けている。					

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティング等、職員間で話し合う場を作っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ教材でも、それぞれに使い方を工夫したり、活動を発展させたりしながら取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別での支援を基本としながら、支援内容に応じて少人数での集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		定期的教室内ミーティングを実施している。その他必要に応じて、職員間で共有ができる環境を設定している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		定期的教室内ミーティングを実施している。その他支援終了後に限らず、必要なタイミング毎に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容は必ず記録を取り、次の支援に反映させるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングと同時に、見直しの必要性も含めて利用者保護者と話し合うようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「創作活動」「余暇の提供」も含め、利用者の居場所としても機能している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		プログラムを固定化せず、時にはこどもが自己選択して取り組める内容も盛り込んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて指導員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関連携を行いお子様の情報共有に努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎サービスは行っていないため、伴う情報共有は行っていない。他の情報共有は必要に応じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の保育所や幼稚園、認定こども園等に伺った際に、現在行っている活動や成長について情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今までに移行したご利用者はいないが、共有ができるように記録などはいつでも見れる状態にしてある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修等でセンターを訪れた際には、活動内容や対応についてご意見を伺うように心がけている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在、プログラムとしての提供はできていない。	現在、プログラムとしての提供は無いが、ニーズを聞き取り必要に応じて検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域の情報を積極的に収集して、今後も参加していきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック、家族支援の面談などで、日頃から共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度は、保護者交流の機会を提供できた。今後、小規模な物も含めて実施を検討していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		主に契約時や計画書の更新時期などに説明しを行っている。保護者様にご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもと保護者の意向を優先し、発達段階に沿った内容で支援計画を作成している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者の納得と了承を確認した上で、署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援による面談に限らず、要望を受けたタイミングごとに話し合う場面を作っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は、保護者交流の機会を提供できた。今後、小規模な物も含めて実施を検討していく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただいたご意見は真摯に受け止め、改善に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室公式のメッセージアプリや直接の機会を使って告知や案内を行っている。	SNS、ブログなども有効的に活用していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、すべて鍵付きロッカー内に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用様が、受け取りやすい情報の形を整えて伝えるように工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ご利用様以外に向けて、無料の体験プログラムをご用意している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法人内マニュアルを使い、利用者も参加する訓練も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内のBCP委員会への参加をし、教室内でも共有・ディスカッションを行っている。毎月違うテーマで避難訓練の実施も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用時に服薬することはないが、服薬の種類や量などは保護者様から聞き取りを行っている。てんかん等についても、できる活動しない方が良い活動などを聞き取り支援を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		情報は把握するが、本事業所では食物の提供をしていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		企業内マニュアルに沿って安全計画を作成している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時にご理解をいただけるよう説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で話し合いを行い、再発防止策も含めた報告書を作成、保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内の虐待防止研修に参加し、共通の認識で業務にあたっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に重要事項説明書内で利用者に説明し、個別支援計画にも記載している。	